



看護局いきいき通信



看護局 図書委員会編集：小谷夏来 岡本信子 酒井啓子

令和元年6月発行

発行責任者：田中早苗

いよいよ令和になり、看護局も新たに田中看護局長をむかえて新年度がスタートしました。引き続き看護局の動向や、院内・外でのイベント情報などを伝えていきますので、取り上げてほしい話題などがあれば各部署の図書委員まで気軽に声をかけて下さい。よろしくお願いします。

新人歓迎会



今年は、新しく19名の新人さんを迎えました。歓迎会では各病棟の新人さんの紹介やビンゴゲームもあり、楽しい時間を過ごすことができました。



大中公園の桜の木の新緑が美しい季節になりました。新入職者の皆さんご入職おめでとうございます。19名の新しい仲間を私たち看護師は大歓迎しています。4月1日の入職式はいかがでしたか？一生忘れられない思い出の一コマになります。心の中に感動の1枚の写真

をしまっておいてください。2週間の研修を終了し配属部署で勤務されている姿を見に行きました。少し緊張した笑顔、その中でも「早く新しい環境に馴染みたい」「ここで頑張るぞ」といった強い決意と覚悟を感じました。看護師として成長していくためには、指導をする側、される側それぞれに大変ですが患者さんの安全・安心、快適な看護を提供したいと思う気持ちはどちらも同じです。その共通の気持ちを持ってみんなで力を合わせて頑張っていきましょう。

現在、大和高田市立病院には333名の看護職が在職しています。4月1日現在、勤務中の看護職は286名(常勤262名 非常勤24名)です。皆さんの職場をよりよい環境にしていくために3つのことを実行してください。1つは、相手のことを思いやる心を持つこと 2つ目はコミュニケーションをしっかりとること 3つ目は明るい笑顔であいさつをすることこの3つを1年間看護局みんなで実行しましょう。

看護局長室は在室時は扉はオープンにしています。いろいろな気づきや相談などがありましたら気軽に立ち寄ってください。

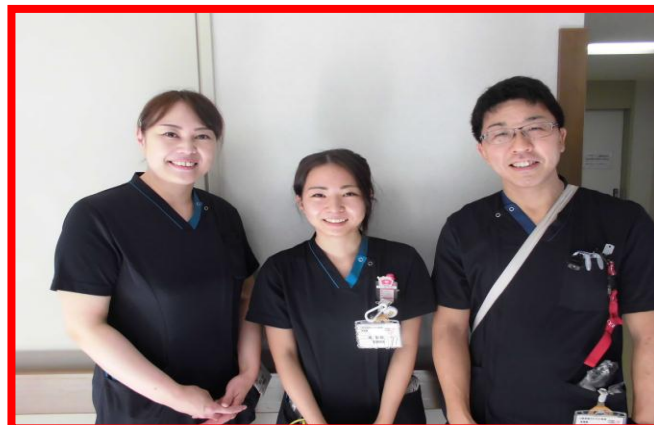
看護局長 認定看護管理者 田中早苗



平成30年度に既卒で入職されたNSたち

大和高田市立病院に入職して、3B病棟に配属され1年がたちます。久しぶりの病棟勤務で、不安と戸惑いでいっぱいでしたが、師長さんに何度も相談にのって頂いたり、スタッフの方の配慮もあり、安心して働くことができました。

既卒と一緒に3B病棟に配属されたスタッフと食事に行ったりしてストレスも上手く発散できたと思います。昨年度は業務を覚えることで精一杯でしたが、今後は今までの経験を活かし、質の高い看護を提供できるよう努力していきたいと思っています。河口愛子



(左から河口さん、巽さん、辻本さん)



新人プリセプターナースの声

入職5年目となり、今年度からプリセプターとして指導に関わることになりました。初めての新人指導なので、不安な事も多く至らないところも色々あります。そんな時、私は部署の師長さんをはじめ先輩や同僚と話し合いながら、プリセプティが立ち立てできるようにサポートをしたいと心がけています。また、プリセプター制度はプリセプティを育てるだけでなく、プリセプティの姿を見て自分が新人だった頃を思い出し、一緒に学習を深め看護師としてさらに成長する機会と捉えて頑張りたいと思います。そして、忙しい勤務の中でたくさんの不安を抱えているプリセプティにわからないことや困ったことがないか自分から声をかけ、話す機会を作るようにすることで悩みや不安を解消する手助けができればと思います。

最後に、この1年間はプリセプティにとってこれから看護師として働いていく第一歩になるので、プリセプターとして責任を持って指導にあたりたいです。

4A病棟 岡本結衣



看護師特定行為研修を修了して

皮膚・排泄ケア認定看護師

堀井さゆり

私は2019年3月に奈良県立医科大学で看護師特定行為研修を修了しました。研修では、臨床病態生理学、臨床推論、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、疾病・臨床病態概論、医療安全等について学びました。医療面接では模擬患者に系統立てた問診を行いながら、鑑別診断をあげる授業があり、今まで自分が行ってきた問診技術の未熟さを実感しました。分野別科目では4領域7行為(創傷管理関連、ろう孔管理関連、栄養および水分管理に係る薬剤と薬関連、呼吸器関連：長期呼吸療法)について学び、行為別に講義、演習の後に客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination)を受け、奈良県内の医療機関で、患者さんの病態の見極めや特定行為技術について医師から指導を受けました。研修で習得した知識技術を活用し、胃瘻や膀胱瘻カテーテルの交換、気管力ニューレの交換、血流のない壊死組織のデブリードマンを実践し、「治療」と「生活」の両面から貢献したいと考えています。そのために研修修了後も実践やトレーニングを継続し自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

ご指導いただいた指導医、特定行為実践に協力頂いた患者さんに感謝するとともに、研修期間中、私が担っていた業務をサポートし、応援して下さった大和高田市立病院の皆さまに感謝申し上げます。2019年5月